

公開セミナー

子どもの貧困



に対する政策を考える



Japan-U.K. Research Cooperative Program

第Ⅰ部 日英における子ども手当・子ども給付の迷走

ジョナサン・ブラッドショー (ヨーク大学)

所 道彦 (大阪市立大学)

第Ⅱ部 子どもの貧困と社会的排除を理解する

エスター・ダーモット (ブリストル大学)

松本 伊智朗 (北海道大学)

第Ⅲ部 子どもの貧困に抗う実践プログラム

湯澤 直美 (立教大学)

埋橋 孝文 (同志社大学)

挨拶／司会／コメント

橘木 俊詔 (同志社大学)

山森 亮 (同志社大学)

矢野 裕俊 (武庫川女子大学)

マーサ・メンセンディーク (同志社大学)

デイヴィッド・ゴードン (ブリストル大学)

企画

阿部 彩 (国立社会保障・人口問題研究所)

厚生労働省の発表によると、日本の子どもの貧困率は15.7% (2009年値)。1980年代から一貫して増え続けています。ようやく子どもの貧困を社会問題として認識しつつある日本社会ですが、子ども手当、高校授業料の無償化など、子どもに対する政策は迷走状態にあります。

今、日本が、子どもの貧困について、できることは何なのか。グローバル化の避けがたい影響として、増え続ける子どもの貧困に手をこまねいて見ているしかないのか。

1999年に「子どもの貧困撲滅」を公約に掲げたイギリスは、2010年に「子どもの貧困法」を成立させ、政府が子どもの貧困を削減することを義務づけられました。

一方で、日本では子どもの貧困率は公表されたものの、貧困の子どもたちがどのような状況にあるのか、子どもの貧困にどのような教育、福祉、社会保障政策を打ち出していくべきか、模索の状況にあります。

イギリスの十数年の成功と失敗から、日本が学ぶべきことは何か。たっぷりと議論していきます。

2012年 1月9日(月・祝) 10:00~17:00

同志社大学 寒梅館
ハーディーホール

入場
無料

定員
800名

申込
不要

同時
通訳

<http://www.ipss.go.jp/int-sem/JPUK2012>

お問合せ先：
同志社大学ライフリスク研究センター Tel: 075-251-3728

- ◆主催：国立社会保障・人口問題研究所／ブリストル大学
- ◆共催：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター／同志社大学ライフリスク研究センター
- ◆後援：京都府／京都市／京都府社会福祉協議会／京都市社会福祉協議会／NHK京都放送局／京都新聞社

●このセミナーは平成23年度独立行政法人日本学術振興会とイギリス Economic & Social Research Council との二国間交流事業（セミナー）による支援を受けて開催されます。

プログラム
program

- 10:00 開会挨拶 橋木俊詔 (同志社大学)
Opening Words by Toshiaki TACHIBANAKI (Doshisha University)
- 10:10 第I部 日英における子ども手当・子ども給付の迷走
Session 1 Child Benefits
司会：山森亮 (同志社大学)
Moderator: Toru YAMAMORI (Doshisha University)
「イギリスの家族手当の変容：新政権の動き」
The New Government and Family-related Benefits in the UK
発表者：ジョナサン・ブラッドショー (ヨーク大学)
Jonathan Bradshaw (York University)
「子どもの貧困対策と日本型福祉システムの限界：子ども手当の迷走」
Policy Responses to Child Poverty and the Limits of Japanese Welfare System : Lessons from Child Benefit Reform
発表者：所道彦 (大阪市立大学)
Michihiko TOKORO (Osaka City University)
質疑応答
Q&A
- 12:00 休憩・昼食
Lunch Break
- 13:00 第II部 子どもの貧困と社会的排除を理解する
Session 2 Understanding Child Poverty and Social Exclusion
司会：矢野裕俊 (武庫川女子大学)
Moderator: Hirotohi YANO (Mukogawa Women's University)
「子どもの貧困における親の役割」
The role of parents in child poverty in the UK
発表者：エスター・ダーモット (ブリストル大学)
Esther Darmott (Bristol University)
コメント：阿部彩 (国立社会保障・人口問題研究所)
Comment: Aya ABE (IPSS)
「子どもの貧困と「重なりあう不利」」
Child poverty and 'overlapping disadvantages'
発表者：松本伊智朗 (北海道大学)
Ichiro MATSUMOTO (Hokkaido University)
コメント：ジョナサン・ブラッドショー (ヨーク大学)
Comment: Jonathan Bradshaw (York University)
- 14:45 休憩
Break
- 15:00 第III部 子どもの貧困に抗う実践プログラム
Session 3 Tackling Child Poverty
司会：マーサ・メンセンディーク (同志社大学)
Moderator: M.Mensendiek (Doshisha University)
「子どもの貧困とソーシャルワーク」
Child poverty and Social work
発表者：湯澤直美 (立教大学)
Naomi YUZAWA (Rikkyo University)
「貧困と子どものコンピテンシー」
Poverty and Competency of Children
発表者：埋橋孝文 (同志社大学)
Takafumi UZUHASHI (Doshisha University)
コメント：デイヴィッド・ゴードン (ブリストル大学)
Comment : David Gordon
- 16:45 閉会挨拶 阿部彩 (国立社会保障・人口問題研究所)
Closing Words by Aya ABE (IPSS)
- 16:55 閉会
Closing

開催概要

◆イベント名
公開セミナー
「子どもの貧困に対する政策を考える」

◆日時：
2012年1月9日 (月・祝)
10:00 ~ 17:00 (9:30 開場)

◆会場
同志社大学 寒梅館 ハーディーホール
(〒602-0023 京都府京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103)

◆言語：日本語、英語
◆通訳：同時通訳有り

◆参加費：無料
◆定員：先着800名
◆事前登録：不要

◆主催：国立社会保障・人口問題研究所/ブリストル大学
◆共催：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター /同志社大学ライフリスク研究センター
◆このセミナーは平成23年度独立行政法人日本学術振興会とイギリス Economic & Social Research Council との二国間交流事業 (セミナー) による支援を受けて開催されます。

◆セミナー特設Webサイト：
<http://www.ipss.go.jp/int-sem/JPUK2012>

お問合せ先

◆同志社大学ライフリスク研究センター
Tel: 075-251-3728 Fax: 075-251-3727
E-mail: rc-risk@mail.doshisha.ac.jp
<http://liferisk.doshisha.ac.jp>

会場へのアクセス

◆会場
同志社大学 寒梅館 ハーディーホール

◆アクセス
地下鉄烏丸線「今出川駅」2番出口から徒歩1分

